

平成25年12月9日

## 組合議会視察研修報告書

那覇市・南風原町環境施設組合議会  
議長 平良 仁一

日時：平成25年11月27日

場所：1. 美玉開発株式会社 2. 拓南製鐵株式会社

参加者：組合議会議員8人、組合職員4人の計12人  
(別紙参加者名簿参照)

目的：那覇市・南風原町環境施設組合議会の視察については、焼却施設及び環境関連施設を視察及び研究することで知識を高め、那覇・南風原クリーンセンター(以下「クリーンセンター」という。)の良好な維持管理・運営に関して共通認識を持つことを目的とする。

### 1. 美玉開発株式会社

#### (1) 施設について

- ・ 南風原町字神里にある美玉リサイクルセンターでは、草木の受入(計量)と一次破碎をする場所があり、ヤード内ではベットマット等のスプリング取り外し作業を行っていた。
- ・ 美玉リサイクルセンターから少し離れた場所にある堆肥センターでは、大きな屋根で囲われた施設において、牛舎から出た牛ふんと尿を集め破碎した草木と混ぜて堆肥を作っており、数ヶ月間かけて堆肥を作っている工程が見られた。一次処理中の尿尿の曝気(ばっき)現場は臭いがきつかったが、草木と混ぜ合わせられ、微生物による発酵が進むと臭いも無くなった。

#### (2) 総評

南風原町内から出る草木を受け入れてリサイクルしていることから見学先に選定した。

草木等の収集から中間処理、製品化までをしている事業所であり、製造された商品(堆肥)は農家に好評で、納品待ちの状態とのことである。

広い敷地と施設管理や、製品が商品となるまで時間がかかることから、採算的には厳しいかと思われたが、収益を上げているとの話しであった。リサイクルは環境にはいいが、事業としては厳しいものが多い中で健闘していると思われた。

那覇市内では高い地価や臭いの問題からこのような施設は見られないので、那覇市と同じごみ処理域内の南風原町で、町内から出た草木がリサイクルされ、しかも地産地消されていることを確認することができた。

同事業所ではクリーンセンターでは受け入れしていないスプリング製品の解体も行っており、直接現場担当者からの声も聞けたが、やはり解体には多くの時間が割か

れること、製品（ポケットコイル式というスプリングが個々に梱包されたもの、高価なベッドに採用されていることが多い）によっては倍以上の時間がかかることも分かった。この処理方法及びヤードの確保等については、母体も含め今後の検討課題である。

## 2. 拓南製鐵株式会社

### (1) 精錬所（工場）について

- ・沖縄市海邦町にある広い工場敷地内をバスで移動しながら、工場内を歩いて見学した。
- ・事務所入り口には、工場で作られた製品（鉄筋）を展示してあり、見学に先駆けて成果品の説明を受け、その後、事務所会議室でのパワーポイントを使った事前説明を受けた。
- ・スクラップを溶かす電気ガマの内側を覆う耐熱レンガを補修している現場を見ることができた。
- ・工場は平日の昼間は電気料の関係でラインの稼働は行っていないが、主に点検や補修、製品の出荷作業を行っていた。
- ・関連会社では、車のスクラップ処理を行う行程も見られるとのことだが、時間の関係上見学はできなかった。

### (2) 総評

県内唯一の製鉄所であり、鉄のリサイクルを行っている所でもあることから見学先に選定した。

敷地は広大であり、工場部分もクリーンセンターよりも大きく造られている。それゆえにクリーンセンターは限られた敷地内にコンパクトに設備を収めているとも感じさせられた。生産された鉄筋は需要が多く、輸出もしているとのことであった。

クリーンセンターと共通する点としては、電気炉を用いていること、その電気炉から出る副産物をスラグとして製品化していることであった。スラグは同じくゆいくる材として認定されているとのことであるが、今回は時間の関係上、製品を確認することができなかった。

## 3. 視察研修を終えて（まとめ）

今回は半日をかけ、リサイクル関連施設2箇所の視察を行った。それぞれの見学時間は短かったが、充実した施設見学及び事業内容の説明を受けることができた。

草木のリサイクルについては、クリーンセンターとは直接的な関係はないが、環境行政において現状を確認することができたことは有意義なことである。少し前までは、草木は燃やすごみとして位置付けられていたが、ごみ減量化の施策により、資源化物として指定したことによる結果で燃やすごみ量を減らすことができ、また、市民町民においては、草木の処理に有料ごみ袋を使うことがなくなることから、各家庭での草木を植えるなどの緑化に取り組むことで、都市域における適切な緑地への配置が生まれ、豊かな生活環境の維持に繋がっていると思われる。

鉄のリサイクルについては、ごみとしてクリーンセンターに入り分別され搬出される鉄類の一部が県内で再利用されることから関連性は高い。今回は、その受入先の一つでもある事業所を見学でき、受入から製品製造まで完結する形態であることを視察でき、現状を確認できたことも有意義なことであった。

今回のリサイクル関連施設を見てまわって、県内において資源が循環する環境が整っていることが確認でき、今後の議会活動のために多くの知識が得られたことを受け、組合議会としても、資源循環型社会へクリーンセンターが貢献できるように行政に働きかけていくことを再認識できた。

最後に、今回の視察にご協力いただいた企業においては、心から感謝を申し上げ、那覇市と南風原町、ひいては沖縄県の発展のために一層のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成25年11月27日 視察研修参加者名簿

	氏 名	職 名	備 考
1	<small>タイラ</small> 平良 <small>ジンイチ</small> 仁一	議 長	那覇市議会
2	<small>アグニ</small> 栗國 <small>アキラ</small> 彰	議 員	那覇市議会
3	<small>ハラ</small> 野原 <small>ヨシタカ</small> 嘉孝	議 員	那覇市議会
4	<small>ハナシロ</small> 花城 <small>マサキ</small> 正樹	議 員	那覇市議会
5	<small>フルゲン</small> 古堅 <small>シゲハル</small> 茂治	議 員	那覇市議会
6	<small>タ</small> 多和田 <small>エイコ</small> 栄子	議 員	那覇市議会
7	<small>アカ ミネ</small> 赤嶺 <small>ナ ツ エ</small> 奈津江	議 員	南風原町議会
8	<small>チ</small> 知念 <small>トミ ノブ</small> 富信	副 議 長	南風原町議会
9	<small>イシカワ</small> 石川 <small>セイシュウ</small> 清秀	事務局長	組合職員(那覇市派遣)
10	<small>マエシロ</small> 前城 <small>ミツル</small> 充	総務企画課長	組合職員(南風原町派遣)
11	<small>ヤマザト</small> 山里 <small>ミル</small> 実	那覇・南風原クリーンセンター副参事	組合職員(那覇市派遣)
12	<small>ナカモト</small> 仲本 <small>ヒロマサ</small> 博政	主 幹	組合職員(那覇市派遣)

平成25年12月9日

## 組合議会視察研修報告書（写真）

○美玉開発にて



美玉開発の照屋社長より説明を受けました。



堆肥センターの前で



堆肥センターの中の様子（完成まえの状態）



草木を破砕している現場



出荷前の堆肥があったが、すでに納品先が決まっていた。店頭には並ばず品薄状態とのこと。



美玉リサイクルセンターの破砕機前にて  
ヤードの中では作業員がベッドマットからスプリングを取り出していました。

○拓南製鐵株式会社にて



拓南製鐵株式会社の事務所にて製造工程の説明を受けました。  
事務所内でのパワーポイントを使っての全体説明



工場入り口において



巨大な電気釜



熔解した鉄を受ける部分の補修（耐熱レンガ）



できた製品を荷積みしているところ



組合駐車場にて議長の解散式あいさつ